

クラス担任のための Career Guidance

2011 >> VOL.6

【キャリアガイダンス 特別編集】

RECRUIT

経験してきた卒業生だから語れるライブ感のあるメッセージ。
先輩力を活用することでキャリア教育を充実させよう！

「卒業生が協力する 進路指導・キャリア教育」

「先輩の言葉は生徒たちの耳に届きやすい」という話をよく聞く。卒業生の力を借りる進路指導……例えば、進路をどんなふうに進めたいか、どんな勉強をしたのか、高校生のうちにしておいてよかったことは何かなどといったことを、志望校に入学したばかりの先輩に話してもらおう。卒業生との懇談会などは、進路指導を中心に多くの学校で行われている。

また、卒業して数年以内の先輩に、分科会や座談会形式で職場や学校の雰囲気などを話してもらおう。取り組みや、30歳代、40歳代以上の先輩に、職業観、生き方などを話してもらおうケースもある。

「先輩の言葉は生徒たちの耳に届きやすい」という話をよく聞く。卒業生の力を借りる進路指導……例えば、進路をどんなふうに進めたいか、どんな勉強をしたのか、高校生のうちにしておいてよかったことは何かなどといったことを、志望校に入学したばかりの先輩に話してもらおう。卒業生との懇談会などは、進路指導を中心に多くの学校で行われている。

大学4回生が進路相談にのる キャリアサポーター制度

奈良県立郡山高校では年間を通して卒業生に協力してもらって取り組みを行っている。卒業生である大学4回生の名が原則1年間、週に1回4〜5時間程度進

路室に勤務する「キャリアサポーター制度」だ。在校生の進路相談のつたり、在校生と保護者に向けた「郡高キャリア通信」を発行するのが主な仕事。「郡高キャリア通信」には大学案内や職業案内がわかりやすく書かれており、生徒に配付されたり、学校HPに掲載されたりする。

プリントや直接対話、 会議への出席など

そのほかの先輩力活用方法も紹介したい。

とした進路指導ではなく、長期的な視点から職業観を育成していく指導が必要だと、教員の意識が変わってきたと思えます」と森本先生。2009年度で研究指定が終了した後も、原則としてすべての取り組みを継続させているそう。

「進路相談はもちろん教員がメインで行いますが、文理選択や学部学科選択、大学の雰囲気など、具体的なことを知りたい場合はサポーターのほうが話しやすいようです」と、進路指導部長の森本俊雄先生。サポーターは大阪大学、神戸大学、大阪市立大学など、同校の生徒の志望が多い大学から選ぶ。サポーターとしての具体的な活動は就職内定後にスタートするため、就職活動も経験した先輩のアドバイスを聞くことができる。

卒業生データベースの整備を

一方、個人情報保護法の施行以来、卒業生の情報収集が難しくなっており、協力してもらおうのも簡単ではない。郡山高校でも電話などによる追跡調査は行わず、模擬試験の試験官のアルバイトとして卒業生に来てもらった際、さりげなく現況を聞くなどしているそう。

郡山高校
キャリアサポーターによる
「郡高キャリア通信」



4人の卒業生が参加した本所高校のキャリア教育協議会

まずは、学校に招くのではなく、体験談や後輩へのメッセージ、進路先の様子などを書いてもらい、在校生にプリントや冊子で配付する方法がある。また、直接聞きたい事柄がある在校生と卒業生を、進路部の教員が橋渡しするというケースも。珍しい学部学科、職業などを目指す生徒の支援策のひとつである。

東京都立本所高校では年度末に実施している「キャリア教育協議会」に、卒業生にも出席してもらっている。3年間受けたキャリア教育について卒業生からも意見を聞き、今後の参考にしようというもの。先日、第3回目が行われ、インターシッピングなど実際の体験が卒業後も役に立っているなどの意見が出された。

下の事例はホームページを活用して卒業生データベースを構築している例。先生と生徒という個々のつながりではなく、学校としてのデータベースの構築を進めれば、これからの進路指導のさまざまな場面で役立つと違いない。

先輩力 活用事例

ホームページで登録を呼びかけて 「卒業生進路ネットワーク」を構築

【東京・私立三輪田学園中・高校】

1年生向け「10年後の私」、2・3年生向け「進路ガイダンス」などさまざまな場面で卒業生に協力してもらっている三輪田学園。卒業生はキャリア教育の成果そのものという考えから、主だった進路行事のほかにも、勉強会や小規模ガイダンスなど、在校生と卒業生のコミュニケーションの機会を随時設けている。これら進路指導に協力してくれる卒業生を確保するために、「卒業生進路ネットワーク」を活用。ホームページから登録してもらっただけのシステムなので、卒業時に依頼したり同窓会冊子で呼びかけるだけで、教員の労力がかからないのがメリット。現在は300人を超える卒業生が登録するデータベースとなり、その数は年々増えている。



>> POINT

- 進路指導で活用するデータベースの作成
- 教員、卒業生に負担のかからない簡単システム
- 同窓会冊子などのPRで登録者数を増やす

卒業生に協力してもらおうキャリア教育

【講演会・セミナーなど】

- 2年生向けに卒業生による大学説明会を実施(宮城)
- 技能オリンピックに参加した卒業生による講演会を開催(茨城)
- 卒業後数年たった卒業生に、職業に就いてからの悩みや苦労話、高校時代の自分について語ってもらう(群馬)
- 卒業生による職業紹介ガイダンスを実施(東京)
- 20〜30歳代の社会で活躍している先輩に仕事や社会について語ってもらう(東京)
- さまざまな職業の卒業生による分科会セミナーを実施(富山)

【体験記・レポートなど】

- 卒業時に「後輩へのアドバイス」を書いてもらい冊子にし、進路指導室や3年生の教室に置く(東京)
- 就職して数年以内の卒業生に在校生向けメッセージを書いてもらう。在校生がまとめ進路だよりとして発行(岐阜)
- 30歳の卒業生からのレポートを冊子にしシンポジウムを開催(大分)

【相談・その他】

- 卒業生に依頼し、在校生の相談にのってもらう(東京)
- 卒業生による勉強会を不定期に開催。在校生は自由参加(東京)
- 卒業生30名程度を呼び、仕事、学校、社会などについて在校生と座談会を実施(兵庫)

みんなの「サクラ」が 咲きました

誰もが主体的に学び、成長し、自分の未来にワクワクしている。そんな社会を実現することが、リクルート進学カンパニーのビジョンです。昨年、リクルート進学情報サービスのご利用を、サクラの苗木に還元する取り組みを開始しました。高校生が未来に向けて踏み出した一歩への応援の気持ちとして、利用申し込みをいただいた高校生の在籍校に、サクラの苗木をお届けしています。

138本
(2010年度)

「学びたい」を、地球の未来のために。

詳しくは⇒進学ネット>みんなのサクラを咲かせよう <http://shingakunet.com/rnet/eco/>